

神奈川県地域がん登録

岡本直幸

神奈川県立がんセンター臨床研究所疫学

1. これまでの経緯

神奈川県の地域がん登録は、正式には「神奈川県悪性新生物登録事業」と称し、開始は昭和45年です。しかし、正確には昭和52年から後が「登録事業」で、それ以前の昭和51年まではいわゆる「悪性新生物実態調査」と称され、毎年実施されてきました。昭和45年に初めて実態調査が開始された経緯には、厚生省がん研究助成金「人がんの疫学的研究」班（主任研究者、平山 雄）の関与がありました。この平山班の研究内容の1つとして、神奈川県医師会と神奈川県立成人病センター（現、がんセンター）が共同で実態調査を行ったわけですが、もともと、疫学研究志向型で開始したため、行政的な対応や支援が遅れ、県はがん実態調査を昭和48年になって初めてそのがん対策の一環として認め、実施主体として参画することになりました。

2. 神奈川県地域がん登録の現状

昭和52年から「登録事業」としてスタートし、実施主体は神奈川県衛生部、実施機関は成人病センター、届出業務は神奈川県医師会が県の委託を受けて実施することになりました。基本的にはこの路線が、現在まで継続して続けられています。しかし、届出の精度は芳しくありません。DCO率は30～35%です。そのため、登録の開始当初より、幾つかの病院に出張採録を行って来ています。神奈川県内には病院が約300施設、診療所が3,000ヶ所あり、さらに当県は大都市東京に隣接していることから、がん患者の東京への流出があります。年間のがん死亡者の約15%は東京都下の病院からの死亡届となっています。すべての病院へのお出張採録はかたがたありませんが、国立がんセンターや癌研究会付属病院に受診した神奈川県の方のデータは、出張採録その他の方法で収集を行っているところです。

3. がん登録作業

登録の実務について少し触れますと、年間の届出数は約24,000件（出張採録も含む）、がんによる死亡票は約16,000件（全死亡票46,000件）であります。これらのデータは全て入力しますので、毎年、少なくとも約40,000件のデータ入力を行っています。また、届出データ、死亡データ、そしてマスターデータとのそれぞれ照合作業を行うため、データの修正件数は年間30,000件を越す作業となっています。登録を担当する人員は、平成6年の

オフコン導入までは6人体制（保健婦2名、事務補助4名）でしたが、導入後は4名（保健婦1名、事務補助3名）となってしまいました。登録要員の削減は、オフコンの導入によるリアルタイム処理の導入や登録業務のシステム化によって対応してきましたが、当がん登録の長年の懸案事項となっている「登録患者の追跡調査」などの未着手業務に、全く手が出せない状況が続いているのが現状です。

4. 公報と情報サービス

その他の作業として欠かせないのは、年1回の「神奈川県悪性新生物登録事業年報」とその簡略版である「神奈川のがん」の作成、ならびに主な届出医療機関に対する情報サービス業務です。神奈川県地域がん登録では、把握したがん患者の集計結果や予後情報を届出医療機関に速やかに報告することによって、地域がん登録の理解と協力が得られるように働きかけています。

5. 神奈川県地域がん登録の将来像

このように、神奈川県の地域がん登録は長い歴史を有し、ある程度軌道に乗った運営がなされています。これは、ひとえに登録の実務作業を担ってくれている方々の日々の努力の結果であることは申すまでもありません。また、届出を継続的に維持していただいている神奈川県医師会会員の先生方の弛まぬ協力にあるものと思っています。しかし、順風満帆に経過してきたわけではありません。神奈川県の財政からは、毎年、「地域がん登録事業」が何の役に立っているのかを示すように要求されています。とくに、老人保健法の後ろ盾が無くなった現在、このような要求はますます厳しさを増すものと思われます。

この有益性を証明するためには、精度を向上させて真の値に近い罹患率を算定することは重要ですが、単にこれだけで成し遂げられるものではないと思っています。もともと本県の地域がん登録は、疫学的研究志向型で出発していますので、各縣市町村の保健行政担当者が必要とするデータを提供することや、大学・研究所の研究者へのデータ提供、さらに市町村の「がん検診」評価の援助などを積極的に実行し、利用度を上げなければならぬと思っています。勿論、むやみにデータを提供するのではなく、適切な申請のもとで許可が得られたものに限定しています。この利用度が増せば、利用頻度を計測することによって、その数値で有益性を示すことが可能になると考えております。これによって、届出がさらに向上し、精度向上も図られ、また利用度も上がるのではないかと、皮算用しているところです。